

中泊町



なかさとじょうあとしせきこうえん 中里城跡史跡公園

県指定文化財（史跡）

指定年月日 平成 15 年 4 月 14 日

平安時代の「防御集落」を復元した史跡公園。竪穴建物跡・柵列跡・井戸跡・空堀跡・土塁跡などが復元整備されている。保存状態が良好で、北奥地方における古代の様相を考えるうえで重要な遺跡であるとの事由から県史跡に指定された。

なかさとしんめいぐう 中里神明宮

天照皇大神を祀る伊勢神宮（内宮）分社。もともとは現在地の北側、弘法寺甲子塚の高台にあったと伝えられているが、弘化4年（1847）に現在の場所に復興したとされている。社殿内には、平尾魯仙・百川学庵など名だたる絵師が描いた絵馬が複数奉納されている。



さんがいばんれいくようとう 三界万霊供養塔

飢饉で亡くなった人々を供養するために、江戸時代に建てられたと考えられている。地域では、飢饉の時一命を賭して直訴し、処刑された清十郎なる人物の伝承に因んで「清十郎地蔵」と称されている。